

所属 経済学部 職名 教授

氏名 大野正智

<研修概要>

マクロ経済における貨幣的現象と実体経済の相互関係について分析を行った。国際収支発展段階説の視点より、当該国の実体経済としての経済成長と貨幣的現象としての国際資金移動との関係を分析した。また、教育への還元として、学習者の効果的な経済学への理解を目差し、その教育方法を検討した。

第一に、マクロ経済における貨幣的現象と実体経済の相互関係について中心的に研究を進めた。この中で、日本と英国のマクロ金融について実証分析したものを、論文[1]として刊行した。

論文[1]「部門別純貸出フローの日英比較」、『成蹊大学経済経営論集』第51巻1号、2020年7月。

概要としては、以下のとおりである。

(論文[1]概要) 国際収支の金融収支(あるいは経常収支)に現れる自国と国外との資金過不足は、一国の部門間資金過不足の一部を構成している。したがって、国際収支項目の経時的変容の観点から見ても、一国の部門別の資金過不足、言い換えれば、資金余剰を意味するプラスの純貸出フロー、および、資金不足を意味するマイナスの純貸出フロー(あるいはプラスの純借入フロー)を分析することは重要である。本稿は、こうした観点に立ち、近年、国際収支の変容に顕著な英国との比較において我が国の部門別純貸出フロー(プラス/マイナス)を統計的に分析した。この分析により、部門間の連動性の大小について英国と日本が異なる特徴をもっていることが明らかになった。

第二に、教育への還元として、マクロ経済学入門科目を対象に経済学教育に関して研究を進め、2020年11月13日には、LA(Learning Assistant) Research Symposiumにおいて、研究成果をポスター発表した。そして、この内容が、2021年3月12日の広島大学高等教育研究開発センター主催・RIHE公開研究会で紹介された。さらに研究を進め、2021年5月、本学経済経営学会ディスカッション・ペーパーとして登録し、関係する研究者に配布した。そして、このディスカッション・ペーパーの研究内容を、2021年5月15日～16日開催の日本経済学会2021年度春季大会で発表し、参加者より有益なコメントを得た。その後、引き続き研究を継続し、論文[2]として刊行予定である。

論文[2]“A Quantitative Investigation into Student Outcomes from Learning Assistant Engagement in Economics Class Hours,”『成蹊大学経済経営論集』第53巻1号、2022年7月。

概要としては、以下のとおりである。

(論文[2]概要) 本論文では、大学の経済学の授業における learning assistant

(本学では公認学習補助員 (QLA)) の活動が受講生の学習成果にどのようにつながるのかを統計的に計測した。北米では理科系学科の授業を中心に learning assistant が多くの大学で活用されている。本研究では、この learning assistant を日本の大学の経済学の授業 (科目名: マクロ経済学入門) に導入した例を対象としてその学習効果の分析を行った。分析において回帰式の説明変数間に生じる多重共線性の問題を回避するとともに推計を行った。これによると、learning assistant の授業での履修生への関与が履修生の学習理解を高めることが統計的に明らかになった。つまり、経済学教育における learning assistant の役割を肯定的に捉える結論となった。

上記以外の関連テーマとして、マクロ時系列データの季節調整の方法や教育データに関する因果推論などについても研究を行った。なお、マクロ経済学、金融、経済学教育などの分野を中心に、研修中に参加した主な学会・研究会は以下のとおりである。

2020年5月30日～31日: 日本経済学会 2020年度春季大会

2020年7月4日: 日本金融学会国際金融部会

2020年8月17日～21日: Econometric Society 2020 World Congress

2020年10月10日～11日: 日本経済学会 2020年度秋季大会

2020年10月31日～11月1日: 日本金融学会 2020年度秋季大会

2020年11月13日: LA (Learning Assistant) Research Symposium

2021年1月3日～5日: 2021 ASSA (Allied Social Science Associations) Annual Meeting

2021年3月12日: 広島大学高等教育研究開発センター主催・RIHE 公開研究会

2021年4月10日: 日本金融学会中央銀行部会セミナー

2021年5月15日～16日: 日本経済学会 2021年度春季大会

2021年5月29日～30日: 日本金融学会 2021年度春季大会

2021年6月11日: 成城大学経済研究所第89回講演会

2021年7月1日～3日: China Meeting of the Econometric Society

2021年7月10日: 日本金融学会中央銀行部会・歴史部会合同セミナー

2021年7月17日: 日本金融学会国際金融部会・神戸大学経済経営研究所国際金融研究部会共催セミナー

2021年10月9日～10日: 日本経済学会 2021年度秋季大会

2021年10月16日～17日: 日本金融学会 2021年度秋季大会

2021年12月11日～12日: 東京経済研究センター第23回マクロコンファレンス

2022年3月5日: 日本金融学会中央銀行部会

2022年3月12日: 日本金融学会国際金融部会

以上